

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	調節麻痺薬使用に関する施設基準および副作用に関する調査
研究責任者	佐藤美保
研究機関名	浜松医科大学
研究目的と意義	小児の眼科診療において調節麻痺薬の使用は不可欠です。しかし調節麻痺薬の選択や点眼方法（濃度、点眼回数）は施設によって様々です。また調節麻痺薬使用による副作用についてはその発生率や発生時期や症状についての全国調査は行われていません。このため、日本弱視斜視学会の多施設共同研究として、アトロピン硫酸塩、シクロペントラート塩酸塩についての使用方法と副作用について日本弱視斜視学会 理事施設および本学会に専門申請のあった施設の学会会員（眼科医）にアンケート調査を行います。
研究期間	西暦 2016年 3月（倫理委員会承認後）～ 2018年 9月
研究方法	<p>対象者：日本弱視斜視学会の理事施設および本学会に専門申請のあった施設に所属する学会会員（眼科医）</p> <p>方法：調節麻痺薬の使用に関する施設基準は対象者にアンケート調査表を送付し回答を得ます。また副作用の発生率や症状については調査開始から1年間の期間を調査期間として副作用の発生率や症状について調査します。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号</p> <p>浜松医科大学医学部附属病院</p> <p>診療科：眼科</p> <p>担当者：佐藤美保</p> <p>TEL： 053-435-2256 FAX：053-435-2372</p> <p>E-mail：mihosato@hama-med.ac.jp</p>